

# 建築学科主催 「就職セミナー 2010」開催報告

田嶋和樹



会場の様子（撮影：宇於嶋先生）

10月20日（水）、リクルートスーツに身を固めた建築学科の3年生や大学院1年生が、1号館CSTホールに集結しました。普段の雰囲気とは少し異なる様子に気がついた人も多かったのではないのでしょうか。実は、当日の15:00～18:45の間、建築学科が主催した「就職セミナー2010」が開催されていたのです。

「就職セミナー2010」は、昨年度まで校門建築会ならびに理工学部校友会建築部会の共催により実施されていた「就職ステップアップセミナー」を建築学科教室が引き継いだものです。本年度は両会の後援を受け、新卒生対象の就職セミナーとして企画しました。「就職セミナー2010」では、就職活動をスタートしたばかりの在學生と企業の方々が接する場を提供することが趣旨であり、企業の方々とのコミュニケーションを通じて、学生が社会で働くことに対する動機づけを行い、就職活動に対するモチベーションを高めてくれることを期待しました。

本セミナーの企画立案に際しては、就職担当である池田先生と矢萩さんを中心として、岡田主任、3年クラス担任（橋本、山田、渡辺、田嶋、秦）、および昨年度の「就職ステップアップセミナー」の開催にご尽力された中田先生が参加するWGが結成され、何度も会議を重ねて準備を進めていきました。

「就職セミナー2010」には、最終的に合計32社が参加しました（表1）。この32社という数は、CSTホールのスペースと企業ブースが必要とするスペースの関係から求められる最大数となっています。実際には、ほかにもお越しいただきたい企業は数多くあり、企業側からも参加の申し出をいただいております。しかし、会場であるCSTホールのスペースの制約があるとともに、学生の視野を広げるためになるべく多くの業種の企業に参加していただくことを意図し、最終的にゼネコン、住宅メーカー、設計事務所、設備会社、建材メーカー、ソフトウェア会社などから32社に絞って参加を依頼しました。

また、各参加企業に対しては、可能な限り建築学科OBも一緒に派遣していただくようお願いしました。これは、就職活動に慣れていない後輩たちに対して、社会人の先輩としてアドバイスしていただくことを意図し

ためです。そのため、当日は多数の建築学科OBが本セミナーに参加しており、会場の各所で後輩たちに対して親身に対応している姿が見られました。改めて、OBの存在は非常に頼もしく、建築学科教室の財産であると感じた瞬間でした。

就職セミナーには、理工学部・建築学科だけでなく、理工学部・海洋建築工学科、生産工学部・建築工学科および工学部・建築学科からも学生が参加し、総勢356名の学生がCSTホールに集まり、大盛況となりました（表2）。学生が真剣に企業の説明を聞く姿は、普段よりも一段と凛々しく、学生から社会人へ脱皮を図る準備が整いつつある様を感慨深く眺めていました。この駿建1月号が届く頃は、きっと就職活動の真っ只中だと思います。今回の就職セミナーで自分の将来の目標に向けた一歩を踏み出した気持ちを忘れずに、今後の就職活動に臨んでほしいと思います。

最後になりますが、「就職セミナー2010」の実施にあたり、会場準備ほか、さまざまな場面で多くの学生が大活躍してくれました。中には参加者であるにもかかわらず、汗水流して協力してくれた大学院生も多数いました。皆さんは建築学科教室の宝です。ここに感謝の意を表します。（たじまかずき・助教）

旭化成ホームズ、安藤建設、NTTファシリティーズ、大林組、岡村製作所、鹿島建設、久米設計、構造ソフト、ジェイアール東日本建築設計事務所、清水建設、新日鉄エンジニアリング、新菱冷熱工業、積水ハウス、大成建設、ダイダン、大和ハウス工業、高砂熱学工業、竹中工務店、東急建設、東京電力、戸田建設、日本設計、西松建設、乃村工務社、間組、長谷工コーポレーション、フジタ、三井ホーム、安井建築設計事務所、山下設計、類設計室、YKKグループ（YKK・YKK AP）

表1 参加企業32社（五十音順、敬称略）

	学部	大学院	合計
理工・建築学科	203	38	241
理工・不動産科学専攻	—	8	8
理工・海洋建築工学科	48	16	64
生産・建築工学科	33	3	36
工・建築学科	0	7	7

表2 参加学生について